



八峰町6月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町6月議会定例会が9日から12日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

新型コロナウイルス感染症経済対策 特別定額給付金事業は進捗率94・3%

はじめに、特別定額給付金事業についてです。
4月20日に閣議決定された「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を受け、4月30日付けで関係予算7億378万8千円を専決処分させていただきました。

オンライン申請については5月9日から、郵送による申請については5月12日に申請書類を発送し、申請受付を開始しています。
現在の進捗状況は、対象世帯数3,067世帯のうち、5月29日の第1回目の振込日には2,710世帯へ、6億3,480万円を振り込んでいます。第2回目の振込日の6月10日には、181世帯へ、3,660万円を振り込むこととしていて、第1回目の振込分と合わせた進捗率は94・3%となっています。

申請受付期限は8月14日ですが、できるだけ早い時期にすべての世帯に給付できるように努めます。
続いて「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」についてです。

この臨時交付金は、「感染拡大防止策と医療提供体制の整備および治療薬の開発」、「雇用の維持と事業の継続」、「次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復」、「強靱な経済構造の構築」の4つを柱としていて、本町においては、すでに皆さんのお手元にお届けした町民一人あたり2枚のマスクを

6月議会定例会に 提出した主な議案

- 専決処分事項の報告について
地方税および地方税法施行令等の一部改正に伴う改正
- 物品の取得について
小型ロータリー除雪車購入契約締結
- 損害賠償の和解について
令和2年度八峰町一般会計補正予算
- 子育て世帯臨時特別給付金、子育て世帯緊急支援事業補助金、プレミアム付商品券発行事業補助金、事業継続臨時交付金、ハタハタの里観光事業株式会社への貸付金、大学生等臨時支援事業補助金など
- 令和2年度各特別会計補正予算
- 八峰町介護保険事業
665万4千円を増額
- 八峰町診療所
189万2千円を減額
- 令和元年度八峰町一般会計の繰越明許費繰越計算報告
- 令和元年度八峰町簡易水道事業特別会計の予算の繰越使用の報告

今後も天候に恵まれ、無事に収穫期を迎えられるようお願いしているところですので。
また、今年米の生産調整見直しの3年目となります。

農家から提出される「水稲生産実施計画書兼営農計画書」いわゆる確認野帳を集計したところ、5月20日現在の本年産の水稲作付面積は、前年実績と横ばいの1,104ヘクタールで、このうち主食用米は1,029ヘクタール、非主食用米は75ヘクタールとなっており、前年実績と比べ、主食用米が7ヘクタールの減、非主食用米が11ヘクタールの増となっています。

主食用米の作付面積は、町が示した「生産の目安」を5ヘクタール上回り、数量換算でも27トン上回る5,874トンと推計され、水稲作付率も、目安算定時の56・3%を0・5ポイント上回る56・8%となっています。

令和元年度黒字決算報告 有限会社峰浜培養

令和元年度は、製造したホダを24万6千本販売したほか、直営ハウスのシイタケ販売と合わせた総販売額は3億8,700万円の実績で、会社全体としては約630万円の黒字決算となっています。

ホダ製造に関しては、新規生産者と新規ハウスが増えたものの、摘み取り手の雇用確保が出来ず栽培を縮小する生産者がいたことから、配荷本数は昨年とほぼ同じで工場稼働率は約82%となりました。
また、ホダ販売代金の入金について

郵送するための関係予算、102万6千円を4月30日付けで専決処分とさせていただきます。先行実施いたしました。今定例会にも関連事業を提案しているほか、今後に向けても被害を受けた事業所等への経済支援策を講じてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



「白神山地八峰町ルート安全祈願祭」 山での無事故・無災害を祈願

5月27日、ぶなっこランドを会場に、NPO法人八峰町観光協会主催による「白神山地八峰町ルート安全祈願祭」が行われました。

例年、安全祈願祭と併せて、町主催による「山開き式典」と「自然観察会二ツ森登山」を実施していましたが、今年度は「新型コロナウイルス」への感染防止の観点から取りやめるとともに、関係者のみで神事を執り行うなど規模を縮小して開催され、この一年間の山での無事故と無災害をお祈りいたしました。

は、JAと連携しながら個々の生産状況を常に把握するとともに毎月の個別未収金を確認するなど、ホダ販売代金の入金に事故がこないように努めています。

しかしながら、入金不足の発生による未収金を借入金等で補っている現状には問題があり、今後は回収する仕組みを改善するよう指導してまいります。

令和2年度は、計6棟のハウス増加はあるものの、栽培方式の変更を始め、栽培農家の高齢化や摘み取り手の雇用確保に伴う規模縮小などの要因から、ホダ製造については、昨年度並みの245万本の販売を計画しています。

また今年度は、昨年10月から実施しているホダ木の2円値下げが丸一年間実施され約500万円の減収となりましたので、ホダ製造のコスト削減に向け、製造コストが安い新工場の稼働率をフル回転するとともに、従業員の作業体系の効率化を図るなど、経費削減に努めることとしています。

また、一昨年から県と町との協力により、地元ナラ材を使用した栽培実証試験を実施しており、遜色のない結果が出ておりますので、さらに各関係機関と協議を重ね、事業化の検討を進めてまいります。
生産者間で大きな課題となっている摘み取り手の雇用確保については、摘み取り手が各生産者間で効率的に巡回作業できる体制づくりを始め、峰浜培養の従業員や地区外の新規の摘み取り手の育成などにより、ヘルパー制度を構築することとしています。

また、4月20日、二ツ森へのアクセス道路である「町道白神二ツ森線」の除雪作業を開始しました。今年の冬は、平野部において極端な少雪でしたが、意外にも山間部においては降雪量が多く、昨年より多い日数を要し5月12日に終了しました。
白神山地への入山者は、青森・秋田両県ともに、ここ数年減少傾向にありますが、観光客や町を訪れる方々に世界自然遺産「白神山地」の素晴らしさをPRし、白神観光を推進していくことが大切であると考えますので、地元ガイド団体等を始め、国や県の関係機関とも連携しながら取り組んでまいります。

令和2年度産米 水稲作付面積は前年実績と横ばい

農作業の進捗状況についてですが、今年の冬があまりにも暖冬であったことから、田植えに向けた水不足を大変心配していましたが、耕起や代掻きなどが若干遅れ気味だった以外は順調に進んでいて、ほっとしているところです。

水稲の健苗育成と適正管理を図るため、県・農協等と連携して行っている「あせ道巡回相談」を今年も4月27日に実施し、その中で一部ハウスに生育ムラやカビの発生等が確認されたものの、全体的におおむね順調な生育であったと伺っています。

田植え作業は5月20日以降最盛期を迎えましたが、比較的温暖な日が続いたため、移植後の苗は順調に生育しています。

峰浜地区統合子ども園の名称 「峰浜ボンポ子ども園」に決定

園名については、「峰浜地区統合子ども園名検討委員会」で協議され、地域性があり、かつ親しみやすいという点で、「峰浜ボンポ子ども園」という名称が提案され、定例教育委員会において承認されました。

また、園建設工事の外構工事については、5月21日に入札が行われ、株式会社嶋田建設が落札いたしました。この工事につきましては、入札予定価格が5千万円を超えており、契約の締結議案を今議会の議案として上程しておりますので、ご審議の程よろしくお願いたします。

5月14日現在の工事進捗状況は、「園舎建築工事」が91・8%、「電気設備工事」が81・7%、「機械設備工事」が78・1%となっています。引き続き今年10月の開園に向けた工事を進めていきます。

